

project

1

1 box
for
2 trees

アスクルのインドネシア製コピー用紙5,000枚(A4、1箱)には、原材料となるユーカリの植林木が1本必要です。コピー用紙1箱に対し、原材料の2倍となる2本の植林を確認しています。植えて、育てて、収穫する。5年で1サイクルのプロジェクトは7年目になりました。「木の畑」はこれからずっと続けていきます。

project

2

20ha
Project

インドネシア・スマトラ島のUNESCO MABプログラムに認定された地域で、「森を守り、森を直す」ため、2011年から地域住民と共同でインドネシア固有種の植樹。保護地域が人の暮らしとどのように共存共栄できるかを考えています。

project

3

ベトナムでの
森林管理と
生計向上

アスクル含む民間企業は、ベトナム国ディエンビエン省の森林管理とコーヒー農家の支援を実施しています。地球温暖化防止への貢献も目指しています。2016年にもコーヒー豆を収穫しました。

project

4

グリーン
商品

「グリーン購入法適合商品」「エコマーク認定商品」「GPNエコ商品ねっと掲載商品」のいずれかに該当すると確認ができた商品に対し、「グリーン商品リスト掲載品」マークを付け、お客様がグリーン購入を行う際の目印にいただいています。

project

5

FSC&
PEFC

コピー用紙・封筒・ノート・家具などのさまざまな製品は、森林資源から作られています。森林認証制度は、独立した第三者機関が、適切に管理された森林から収穫された木材を使って製造された製品であることを認証し、その森林から生産された木材・木材製品にラベルを付けて流通させる仕組みです。FSCとPEFCの2つの制度が国際的に普及しています。

project

6

仕入・調達

サプライヤー様の倉庫からアスクルの物流センターに納品する段階で、納入車両から排出される調達に伴うCO₂の「見える化」に取り組んでいます。これらのCO₂排出量データを活用し、海外調達商品において国内輸送時のモーダルシフト化や、調達ルートの効率化・改善を実施しています。また、海外生産品は同じ地域で生産される別々の商品を1つのコンテナでの輸入も始めています。

project

7

新設
物流センター

New

AVCH高は、全館LED照明を設置し、CO₂排出量および消費電力は約50%減(一般蛍光灯比)。AVC関西は、全館LED照明の設置、井水利用や雨水再利用など、環境に配慮しており、建物環境認証制度であるLEED (Leadership in Energy and Environmental Design) ゴールドの予備認証を取得。また、建物のサステナブルな取り組みが評価され、国土交通省の「平成27年度(第2回)サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)」に物流施設として初めて採択。

project

8

RE100に加盟

New

国際環境NGO「The Climate Group」が運営するRE100(再生可能エネルギー100%)に加盟。2030年までに、本社・物流センター・関連会社のすべての電力を再生可能エネルギーでまかなう予定です。

project

9

本社オフィスは
環境に配慮した
木材を使用

New

豊洲本社オフィスの商談スペース等に国内の杉の間伐材(東京都奥多摩産を約1.3トン、岡山県西栗倉村産を約3.8トン)を使用しています。ナチュラルな木の温もりを感じられる、環境に配慮したオフィスとなっています。

project

10

「ゼロ
エミッション」と
「もったいない」
活動

New

商品仕入れ時の梱包資材削減による廃棄物量の削減、ダンボールや古いカタログなどの不要な紙資源や、廃プラスチック・金属等のリサイクル率の向上など、「再資源化率100%」を目標に、循環型社会の実現を目指しています。また、食品の期限管理を徹底して行うことにより無駄な廃棄をなくす「もったいない」活動に取り組み、食品廃棄の削減にも大きく寄与しています。

project

11

省資源
梱包での
お届け

New

商品の大きさや種類により梱包資材を変更したり、紙緩衝材の使用量削減に努めています。B to C向けサービスの「LOHA CO」では、梱包テープ不要で、緩衝材の使用量も削減するI-Packシステム(自動梱包システム)を導入しています。また、一部エリアではエコな簡易パック(レジ袋)でのお届けをしています。

project

12

ECO-
TURN
配送

New

「ECO-TURN(エコターン)配送」は、ご注文の商品を再利用可能な折りたたみコンテナ(「通い箱」)でお届けし、コンテナを回収した後に再度お届けに使用する仕組みです。梱包資材の使用量削減に貢献するとともに、お客様先でのダンボール等が発生しない配送を実現しています。

project

13

EV100に加盟

New

2016年4月、アスクルの配送を担うASKUL LOGIST(株)が電気自動車(日産自動車e-NV 200)を10台導入しました。電気自動車での配送は「排気ガスを排出しない」「走行時のCO₂排出がゼロになる」など環境負荷低減に優れています。
※2017年11月には国際環境NGO「The Climate Group」が運営するEV100(電気自動車100%)に加盟。2030年までに、ASKUL LOGIST(株)が所有する車両をすべて電気自動車にする予定です。

project

14

Happy
On Time

New

2016年8月サービス開始の「Happy On Time」は、これまでのお届け時間帯に、早朝便・深夜便を追加し、朝6時から夜24時まで、1時間単位でお客様が受け取り時間を指定することができるサービスです。時間の無駄なく受け取ることにより、お客様への再配送を少なくすることができます。その結果、配送車両の走行距離を減らすことができ、環境負荷の低減にもつながっています。
※2017年8月、「置き場所指定配送」「ダンボール回収」など4つのサービスを追加。

project

15

回収
サービス

New

「有効期限が終了したカタログ」や「商品お届け時に利用したアスクルダンボール・紙袋」の無料回収サービスを行っています。回収したカタログやダンボールは、リサイクル資源に。また、各種トナー・インカートリッジも無料回収し、リサイクルトナーやリサイクルインクとして再生利用しています。

project

16

自転車での
お届け

New

アスクルグループの一員となった株式会社エコ配により、2015年12月から東京・名古屋・大阪の都市中心部エリアの法人のお客様に、自転車によるお届けをしています。自転車配送はCO₂排出量削減に大きな効果があります。

Information

Webサイトで
さらに詳しい
情報を
発信しています!

アスクルの取り組み①～③はこちら
http://1for2.askul.co.jp/

アスクルの取り組み全般はこちら
http://www.askul.co.jp/csr/

お問い合わせ先

本書ならびに環境に関するお問い合わせは、右記までお願いします。	アスクル株式会社 環境CSR 電話／03-4330-5565 FAX／03-4330-4810 E-mail／ecoaskul@askul.co.jp
ご注文・商品に関するお問い合わせは、右記までお願いします。	アスクルお問い合わせセンター 電話／0120-345-861 受付時間／月曜日～土曜日 午前8時～午後8時(祝日を除く)

会社概要

創立	1997年5月21日
本社住所	東京都江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン
電話番号	03-4330-5001(代表)
URL	http://www.askul.co.jp/
資本金	21,189百万円(2017年5月20日現在)
売上金	3,359億円(2017年5月期)

主要な事業内容

下記商品およびサービスにおける通信販売事業／文房具、事務用品、オフィス家具、什器備品、オフィスインテリア用品、コンピュータ周辺機器、ソフトウェア、書籍、食料品、日用雑貨品、酒類、水、清涼飲料水、衣料品、家庭用電化製品、衛生用品、医薬品、化粧品、医療機器、介護用品、MRO商材、名刺および封筒の印刷作成、伝票等の名入れサービス、オフィスレイアウトサービス
--

主要事業所

事業所名	住所
本社	東京都江東区豊洲3-2-3 豊洲キュービックガーデン
ASKUL Value Center日高	埼玉県日高市大字上鹿山字茗荷沢788-1
DCMセンター	東京都江東区青海4-1-16
仙台DMC	宮城県仙台市宮城野区仙台北2-5-2
ASKUL Logi PARK横浜	神奈川県横浜市鶴見区生麦2-4-6
名古屋センター	愛知県東海市浅山2-47
大阪DMC	大阪市此花区北港緑地2-1-66
ASKUL Logi PARK福岡	福岡県福岡市東区みなと香椎2-2-1

環境への取り組み分野

脱炭素への取り組み

資源循環への取り組み

自然共生・生物多様性への取り組み

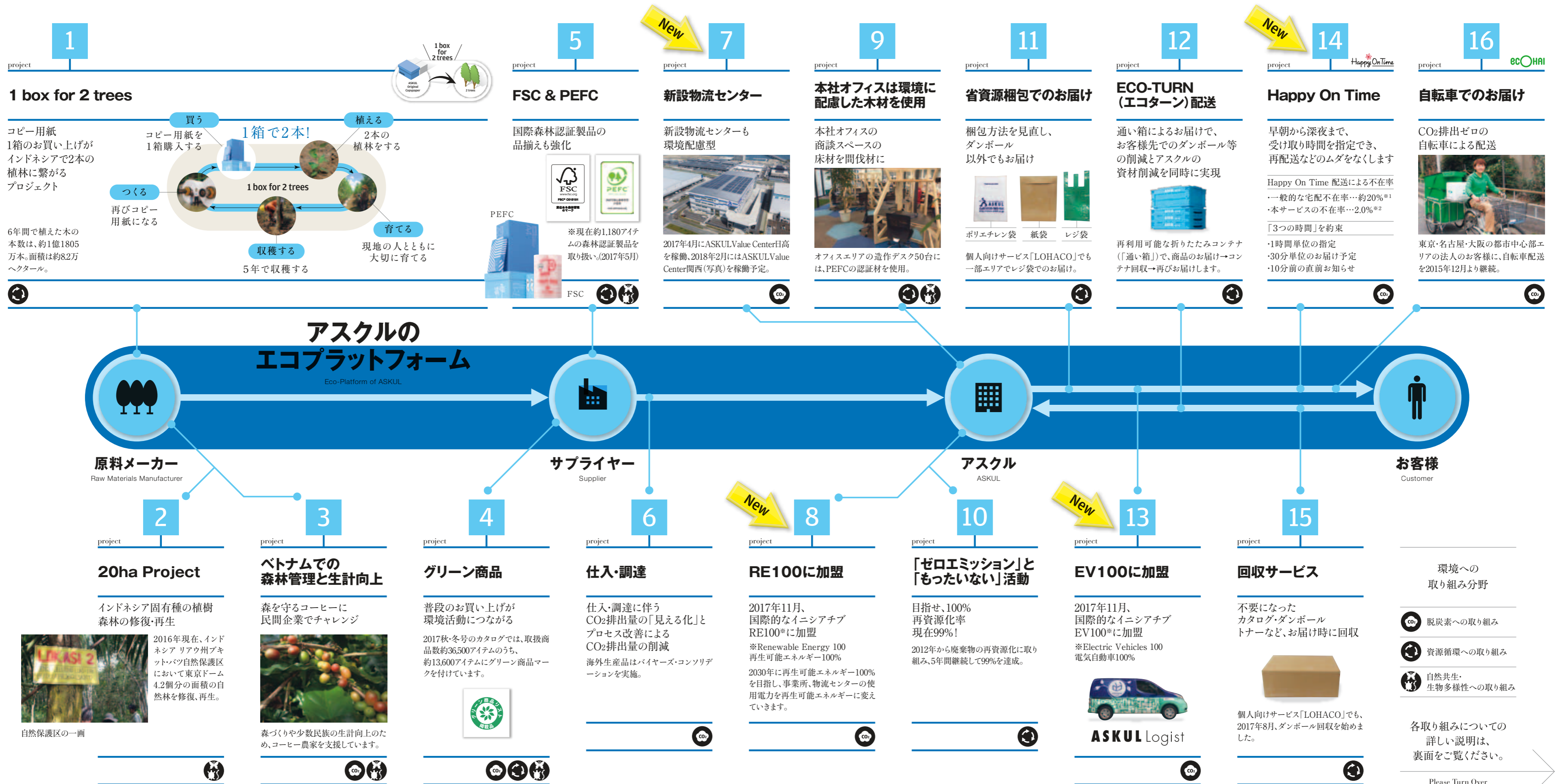
ASKUL
Eco-Platform for Sustainability

持続可能な
社会のために

A large graphic illustration for ASKUL's sustainability platform. At the top, the word 'ASKUL' is written in large, bold, black letters. Below it, a woman in a purple hijab and pink pants is planting a small green seedling. To her right is a small, blue and white cartoon car with a smiling face. Below the woman is a small, orange and yellow cartoon animal. At the bottom, there are two green trees of different sizes. On the right side, there is a blue box with a smiling face, filled with various items like a red can, a green box, and a purple bag with the word 'TEA' on it. The background is white with some faint, stylized lines.

CO₂ゼロへのチャレンジ、アスクルのエコプラットフォーム

アスクルは2016年7月14日に「アスクル環境フォーラム2016～CO₂ゼロチャレンジ・企業間連携の可能性を探る～」を開催。2030年に「CO₂ゼロにチャレンジすること」を発表いたしました。メーカー・サプライヤー様、お客様と協働して、CO₂削減の取り組みを進めてまいります。今後、原材料調達からお客様へのお届けまでサプライチェーン全体のCO₂ゼロを目指していきます。



※1. 出所:平成27年8月26日国土交通省「宅配の再配達の問題による社会的損失の試算について」内の環境省「平成26年度低炭素地域づくり集中支援モデル事業」調査における不在率(一日の不在再配達/一日の持出個数)23.5%を基に記載。※2. 本サービス実績(2017年5月21日～同年6月20日、1時間枠指定の場合)